

神社の杜(三十三)

岩巡り

御岳ビジターセンター

片柳 茂生

世の中には、大岩やら奇岩などがたくさんございまして、またそのような岩には必ずといっていいほど名前が付いております。奥多摩の平原にある梵天岩、檜原の神戸岩などがこの近辺では有名な岩でございまして。御嶽山にもいろいろと岩がございまして。今回は少し御嶽山の岩についてご紹介いたします。

御嶽山で名の知れた岩と申しますと、これはもう天狗岩でございましょう。この天狗岩は七代の滝の上に聳え立つ岩でございまして、岩の上には大天狗とカラス天狗の像が安置されております。岩の上に天狗の像があるから天狗岩? いえいえ、どうもそれだけでは足りないような気がいたします。実は、ロックガーデンの方に少々下りまして見上げますと、なんとこの岩、大天狗が空を見上げて長い鼻を突き出したように見えるのでござい

ざいます。そこからこの名が付いたかどうかは存じませんが、そう見えなくもございせん。

奥の院の中腹にも変わった岩がございまして。この岩、鸚鵡岩と申しまして、江戸時代に書かれた書物にも載っているという岩でございまして。なんでも、離れた所からこの鸚鵡岩に向かって大きな声で呼びかけますと、声が岩に反射して帰ってくるという不思議な岩でございまして。皆様も是非お試しになって下さい。またこの鸚鵡岩の上に立ちますと、関東平野が一望のもとに望めるという絶景のポイント



「大天狗岩の天狗像」

でもございまして。また、鸚鵡岩の手前には屏風岩というのもございまして。

奥の院を後にいたしました大岳山に進みますと、大嶽神社にほど近い所に護摩壇岩と申します岩がございまして。登山道を歩いているだけでは分かりませんが、この岩を登りかけた所は畳一畳くらいの平らな岩になっております。その昔修験者が、修行中にこの岩の上で護摩を焚いたのでしようか、定かではございせん。

大嶽山から帰る途中、ちょうど奥の院の真下くらいに位置する所に猪打ち岩という岩がございまして、一方で日の出山方面には、猪待ち岩という岩がございまして。片方では猪を撃ちますが、もう一方の岩では猪をただ待つだけ、そんなことはないでしょうが、なかなかおもしろい呼び名でございまして。まだまだ他にもございまして。いづれまたご紹介することといたしましょう。

表紙写真 鈴木 新吾

新神楽「種かし(稲荷)」

稲荷・白狐・田人(ひよつとこ)・退治(大熊大人)が登場する、保食神の食物起源神話に狐の霊力を織り込んだ神楽です。

あ と が き

夏も終わり、九月に入ると、御岳山では肌寒さを感じ始めました。社務所の窓からは何時も変わらぬ緑の山並みが望めます。華やかな美しさは無くとも、猛暑や風雪に晒されても緑を湛え、多くの生命を育んでいる力強い美しさを教えてくれます。混迷する我が国、もう一度大地にしっかりと根を張って絶えぬ緑が育つ事を願います。羽沢御嶽講講元の内田武様、斎藤慎一先生、ビジターセンター片柳様には、玉稿をありがとうございます。

平成二十一年九月三十日発行  
〔年二回発行・非売品〕  
編集 武蔵御嶽神社

TEL(四六) 七六 八五〇  
FAX(四六) 七六 九七二

印刷 (株)成和印刷  
http://www.musashinotakejinja.jp/